

第30回

# 北前船 寄港地

## フォーラム in 秋田

テーマ

### 北前船で旅した 秋田蘭画

つなげる・つながる  
世界と未来

## 報告書

2022

3/18(金) 歓迎交流前夜祭

3/19(土) フォーラム・レセプション

3/20(日) エクスカーション

「秋田風俗絵巻」秋田県立博物館蔵



【主催】北前船寄港地フォーラム in 秋田実行委員会

秋田県、秋田市、秋田商工会議所、一般社団法人秋田県観光連盟、公益財団法人秋田観光コンベンション協会、秋田県日本中国友好協会、株式会社秋田銀行、株式会社北都銀行、東日本旅客鉄道株式会社、全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、株式会社秋田魁新報社

【共催】一般社団法人北前船交流拡大機構





## 3月18日(金) 意見交換会・前夜祭 会場:ホテルメトロポリタン秋田

- 14:30 北前船日本遺産推進協議会 **意見交換会** 会場:3階グランデA  
 16:00 (一社)地域連携研究所発足式 会場:3階ジュエル  
 18:00 **前夜祭** 会場:3階グランデ

## 3月19日(土) 10:30 特別講演会 テーマ「秋田藩の文化と北前船」 会場:秋田キャッスルホテル 講演者:歴史学者 磯田 道史 氏 会場:4階放光の間

## 北前船寄港地フォーラムin秋田 会場:4階放光の間

13:15 オープニング

13:30 **第一部** 開会セレモニー・市長挨拶・来賓挨拶

14:40 **第二部** 基調講演「日本の食を世界に」

講演者:奥井海生堂 代表取締役社長 奥井 隆 氏 テーマ「北前船が運んだ昆布を世界へ」  
 特定非営利活動法人 日本料理アカデミー理事長 一般社団法人 全日本・食学会理事長  
 菊乃井本店 主人 村田 吉弘 氏 テーマ「日本料理とは何か」

16:10 **第三部** パネルディスカッション

テーマ「新しい価値を生む現代の北前船 食や文化を世界の架け橋に」

出演者:コーディネーター／観光庁観光地域振興部観光資源課長 星 明彦 氏

パネラー／奥井海生堂 代表取締役社長 奥井 隆 氏

株式会社 諸井醸造 代表 諸井 秀樹 氏

秋田市観光文化スポーツ部長 納谷 信広 氏

17:30 レセプション

## 3月20日(日) 8:30～16:00 エクスカーション 秋田県内(秋田市～男鹿) 秋田キャッスルホテル・入道崎・なまはげ館・寒風山(昼食) 土崎みなと歴史伝承館・秋田市民俗芸能伝承館・秋田駅・秋田空港

### 特別講演

歴史学者

**磯田 道史 氏**



1970年生まれ。岡山市出身。国際日本文化研究センター教授、専門は日本近世・近代史。慶應義塾大学文学部史学科、同大学院博士課程修了。博士(史学)。茨城大学人文学部准教授、静岡文化芸術大学文化政策学部教授を経て現職。NHKテレビBSプレミアム「英雄たちの選択」(水曜8時)ではキャスターをつとめる。著書「武士の家計簿」(新潮新書)で新潮ドキュメント賞。「天災から日本史を読みなおす」(中公新書)で日本エッセイストクラブ賞。「無私の日本人」(文春文庫)が2016年5月に「殿、利息でござる」(松竹配給)で映画化。「素顔の西郷隆盛」(新潮新書)ほか多数。近著に『感染症の日本史』(文春新書)

## 基調講演者

奥井海生堂 代表取締役社長 **奥井 隆 氏**



北前船交易で栄える、越前敦賀湊で明治4年創業。大本山永平寺、大本山總持寺御用達の御昆布司四代目主人。代々、京都「菊乃井」様を始め名だたる高級料亭とのお取引をいただき、四代目主人の代より海外のミシュラン星付きレストランとのお取引が始まる。同時にパリやニューヨークでの昆布の講演会も数多く開催。海外へ精力的に昆布文化紹介のため活動が続いている。

特定非営利活動法人  
日本料理アカデミー理事長

一般社団法人 全日本・食学会理事長

菊乃井本店 主人



**村田 吉弘 氏**

京都の料亭「菊乃井」の長男として生まれる。立命館大学在学中、フランス料理研究のため渡仏。大学卒業後、名古屋の料亭「加茂免」で修行を積む。2013年 京都府文化賞功労賞受賞。2014年 地域文化功労者（芸術文化）受賞。2017年 文化庁長官表彰受賞。2018年 第5回食の新潟国際賞 佐藤藤三郎特別賞受賞。2018年 京都市文化功労者に選出。2018年 平成30年春の黄綬褒章受賞。2018年 文化功労者に選出。

## コーディネーター・パネラー

### コーディネーター



観光庁観光地域振興部観光資源課長  
内閣府地方創生推進事務局 参事官  
内閣官房デジタル田園都市  
国家構想実現会議事務局 参事官  
内閣官房副長官補付参事官  
(内閣官房観光戦略実行推進室)

**星 明彦 氏**

1998年に運輸省（現国土交通省）に入省。欧州連合日本政府代表部二等書記官、独立行政法人交通安全環境研究所（現自動車技術総合機構）企画室長、自動車局安全政策課事故防止対策推進官、航空局航空ネットワーク部首都圏空港課東京国際空港環境企画調整室長、海上保安庁総務部政務課企画官、自動車局総務課企画室長等を経て、2021年4月より現職。

### パネラー



奥井海生堂 代表取締役社長

**奥井 隆 氏**

近年、昆布の産地をワインのテロワールにたとえるなかで、非常にわかりやすく昆布の特徴を解き明かし、ソムリエならぬ「コプリエ」として、昆布の普及や日本の食文化の宣揚にも奔走。講師や各種メディアでの紹介等、登場の段が急増している。昆布に対する愛情、その見識の深さは高く評価され、今日の商いに繋がっている。2006年9月には内閣府のジャパンブランド推進委員会より、日本食文化の普及活動の一貫として、パリに招聘され日本文化会館で昆布の講演を行う。

### パネラー



株式会社 諸井醸造 代表

**諸井 秀樹 氏**

地元男鹿市船川に生まれ育ち、東京の大学で醸造業を学んだ後、家業である醤油、味噌の醸造所を継承。ハタハタと塩だけを用いた「しよつる」造りに取り組み、2000年に理想の「秋田しよつる」を完成。2013年に開催された第12回北前船寄港地フォーラムin男鹿では実行委員長を務める。現在はハタハタとしよつるを結びつけた、ハタハタ丼やハタハタ煎餅などの商品開発に関わりながら、男鹿の食文化の継承と観光の再生を目指した活動を行っている。

### パネラー



秋田市観光文化スポーツ部長

**納谷 信広 氏**

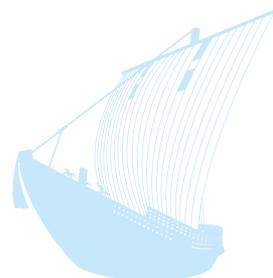
1987年4月に秋田市役所入所。埋蔵文化財の発掘調査等に従事した後、市民協働・地域分権推進課副参事、企画調整課参事、文化振興課長を経て、2021年5月より現職。2017年に北前船の寄港地・船主集落でのストーリーが日本遺産として認定される際に尽力した。

## 秋田蘭画

### 秋田蘭画とは

江戸時代後期に、秋田藩の武士たちが、いち早く西洋の写実的表現を学んで描いた洋風画。

「児童愛犬図」  
小田野直武筆  
秋田市立千秋美術館蔵



「北前船寄港地フォーラムin秋田」

実行委員会会長

秋田市長

## 穂積 志



石見神楽の素晴らしい力強い演舞にオープニングを飾っていただきました。

心からお礼を申し上げます。

第30回北前船寄港地フォーラムは、本来であれば演舞をしていただいた島根県浜田市での開催でしたが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できませんでした。記念すべき第30回北前船寄港地フォーラムin秋田に、浜田市の石見神楽の皆さんにお越しいただき、力強く力添えを賜り本当に心から感謝申し上げます。

まだまだ新型コロナウイルスが落ち着かない状況ですが、こうして全国の皆様をお迎えして盛大に開催出来ますのも、北前船交流拡大機構の濱田理事長をはじめ、北前船日本遺産推進協議会の宮元会長をはじめとする多くの自治体首長の皆様の力の賜物であります。心から感謝申し上げます。

また、石川好先生には、4年制になりました秋田公立美術大学の前身である秋田公立美術工芸短期大学の学長として長く勤めていただきました。その中で北前船の corridors 構想のもと、平成26年には、この秋田でも北前船寄港地フォーラムを開催させていた

いただきました。土崎周辺を会場として開催し、その時に「日本遺産に登録しよう」と実行委員会副会長・秋田商工会議所の三浦会頭からお話があり、平成29年には日本遺産に登録することができました。

また、北前船日本遺産推進協議会は当初11の市町で構成されていましたが、今では48市町となり、今後は、岡山県備前市も加わる予定と伺っており、どんどん交流の輪が広がっています。

前夜祭では、三浦会頭から「世界遺産に」というお話もありました。皆さんと共に交流を広げ、そしてアフターコロナを見据え、地域が連携して活性化を図るというこの北前船のフォーラムの想いととも、世界にも発信していきたいと考えております。

10月のパリ開催の成功につながるその第一歩として、このフォーラムが盛大に終了できますように、皆様のご協力をお願いし、開会にあたってのご挨拶にかえさせていただきます。



皆様ご存じのようにコロナ禍での開催ということで、実行委員会の皆様は大変なご苦勞をされたと思います。その意味では本日の開催を是非成功させたい、そして次に繋がる開催にしたいと思っております。

私ども北前船交流拡大機構は、秋田大会の次はフランスで開催したいと思っております。

「食文化をフランスから世界へ」というテーマで開催し、日本の農産品の販売拡大、訪日の方々を呼び込みたいという想いでフランス大会を開催します。

そして、令和5年の2月には沖縄で開催したいと思っております。沖縄復帰50周年という事で、記念すべき大会になろうかと思います。

日本遺産登録の次は世界遺産登録というお話も出ており、中々厳しくはありますが良いお話ですので、この機構の設立の精神に戻り、何らかの形で地方の活性化に繋げたいという想いで今後もフォーラムを続けていく所存です。

記念すべき第30回北前船寄港地フォーラムをこのような時に開催でき、この運動の提唱者としてこれほど嬉しい事はありません。しかも私にとって第二の故郷である秋田に多くの皆さん方をお迎えしての北前船寄港地フォーラム、本当に盛大に盛り上げていきたいと思っております。



※挨拶の内容を抜粋して掲載しました。



一般社団法人  
北前船交流拡大機構  
理事長

**濱田 健一郎**



一般社団法人  
北前船交流拡大機構  
評議員議長

**石川 好**



「北前船寄港地フォーラムin秋田」

実行委員会顧問

秋田県知事

## 佐竹 敬久



全国から大勢の方にお越しいただき本当にありがとうございます。

本来であれば昨年度の開催ですが、コロナの関係で延期を余儀なくされこの度の開催に至りました。コロナ禍ということで非常に色々な面で神経を使う運営となり関係の皆様には心から感謝を申し上げます。

このフォーラムは、平成19年に山形県の酒田市で第1回の開催をしています。当時私は秋田市長でした。今回が第30回ということで、本当に記念すべき節目です。当時からすれば関係企業も大変多くなり、全国自治体との連携の中でこの日本の再生を今後進めることができれば幸いです。

秋田の経済の80%は北前船が支えていたと言われており、秋田蘭画というのは本県の私の先祖の由来の小田野直武という方が平賀源内から手ほどきを受けて画風を作りました。

平成30年には中国・大連市でこのフォーラムを行なっており、秋田県と大連市は姉妹交流を続けております。

また、10月にはフランス・パリでのフォーラムが計画されていると伺っております。本日は大変お忙しいなかフランス大使館からステファンヌ・マルタン文化参事官がおいでになっております。本当にありがとうございます。秋田県大館市には花善というお店の『鶏

めし弁当』という大変有名な駅弁がありますが、実はパリのリヨン駅に支店があり、日本の駅弁をフランスで大いに宣伝しています。大変売れるそうです。

本日は「日本の食を世界に」をテーマに様々な食に関するディスカッションが行われます。今の日本の首都圏一極集中、地方の疲弊がありますが、色々な面で地域が連携しながら地方の文化の融合、様々な交流の中から新しい日本を目指そうというのがこのフォーラムの原点ですので是非本日を契機に、この運動そして恩恵を全国に広げていただければ幸いです。

また、都市間交流において色々な面で今まさにこれからの日本の時代の変革期です。地方が日本を変える、地方から日本を力強くする、この原点を皆さんにご認識いただいて益々このフォーラムが発展、また皆様の地域の発展、ご健勝を祈りご挨拶とさせていただきます。



フランス大使館  
文化参事官  
アンスティチュ・フランセ日本代表

## ステファンヌ・マルタン



在日フランス大使館の文化参事官、アンスティチュ・フランセ日本の代表、ステファンヌ・マルタンと申します。66歳になりましたので、残り2年間の勤務になりました。

主にパリで任命されたのはジャック・シラク大統領の補佐でした。そして、シラク大統領が企画なさったケ・ブランリー・ジャック・シラク美術館の館長をさせていただきました。この美術館のおかげで何度も日本に来たことはありましたが、残念ながら秋田県には1度も来たことがありませんでした。

今回はフォーラムのおかげで秋田県に来ることができ、また将来岡山県備前市でフォーラムが行われるということで非常に嬉しく思います。シラク大統領は備前市が凄く好きでした。

今年の10月のパリのフォーラムの際には、エッフェル塔のすぐ近くにあるケ・ブランリー・ジャック・シラク美術館やパリ文化会館を是非訪れてください。

ケ・ブランリー・ジャック・シラク美術館にはアラン・デュカスが経営しているレストランがあり、美食と文化が非常に深い関係を持っていると言えます。

駐日フランス大使のフィリップ・セトンのメッセージをお伝えいたします。

「秋田県知事の佐竹さん、秋田市長の穂積さん、北前船交流拡大機構の理事長濱田さん、専務理事浅見さん、皆様、

在日フランス大使館から御礼申し上げます。今回の第30回北前船寄港地フォーラムに招待いただいて誠にありがとうございます。そして今年の秋にパリで行うフォーラムは、ヨーロッパで初めて開催されると思います。大変嬉しく思います。この機会に国際的組織間で文化的な交流が推進されると非常に嬉しく思います。もちろん経済的な交流も推進されるとと思いますが、その中で人間的そして文化的な交流が発生するのは非常に大事だと思います。特にこういった難しい時期の中では、人間的・経済的・文化的な交流を強めるのは大事だと思います。北前船のルートのおかげで様々な経済交流・文化交流、そして深い歴史が発生し、2017年に日本遺産に登録されたのはそれを表す一つの印です。今年の秋のフォーラムをきっかけに、その深い歴史にフランスが繋がることを非常に嬉しく思います。

個人的には瀬戸の昆布を味見できるのを非常に楽しみにしています。皆さんはご存知かと思いますが、一緒に楽しみにしています。この北前船のおかげで日本の美食の文化が豪華になって普及されて私のようなフランス人がそれを非常に気に入っている日仏の観念を深く振興します。食に基づいて人間が行動し、文化の交流が普及したりと、非常に大事な文化だと思います。

今回のフォーラム、本当に成功を祈っております。」



## 北前船

作詞 石原 信一  
作曲 上総 優  
歌唱 五木 ひろし

日本海行く 希望の船は  
夢を積み荷の 千石船だ  
吹けよ春風 大海原に  
一本マストの 帆を上げろ  
男一匹 五尺の舳  
キラリしぶきが 華になる  
お宝お宝 お宝お宝 ヨーイトセー  
しあわせ運んで 北前船

うねる荒波 よいしょと越えて  
錨(いかり)おろした 風待ち港  
可愛あの娘の お酌に酔えば  
十八番(おはこ)が飛び出す ハイヤ節  
男一匹 船乗り稼業  
遠く眺める ふるさとさ  
お宝お宝 お宝お宝 ヨーイトセー  
かもめと一緒に 北前船

上(のぼり)下(くだ)りの 夢追い船は  
板子(いたご)一枚 地獄が隣り  
両手合わせる 龍神様に  
女房子供よ 風邪ひくな  
男一匹 命を燃やし  
明日はいずこの 波まくら  
お宝お宝 お宝お宝 ヨーイトセー  
天下に轟(とどろ)け 北前船

## 港町恋唄 1

作詞 石原 信一 / 作曲 上総 優  
歌唱 五木 ひろし

一 港わたりの 船乗りは  
潮の香りの いい男  
酒は強いが 情けに弱い  
小樽 松前 鯨ヶ沢

二 俺に本気で 惚れるなど  
一夜泊りで 背を向ける  
ついていきたい かもめになって  
深浦 秋田 酒田まで

三 きっと来るよの 約束は  
海が時化(しけ)れば かなわない  
どうかご無事で また逢う日まで  
新潟 富山 輪島沖

四 未練心の 船乗りは  
涙しぶきに 隠すだけ  
陸(おか)に手を振り 笑顔を見せる  
加賀に 敦賀に 宮津へと

五 今度生まれて 来る時も  
波を蹴立(けた)てて かけまわる  
なのに恋路は どうにもならぬ  
鳥取 浜田 尾道も

六 昨日倉敷 今日多度津  
明日は高砂 港町  
消えぬ面影 波止場にゆれる  
淡路 大阪 旅しぐれ

## 港町恋唄 2

作詞 石原 信一 / 作曲 上総 優  
歌唱 五木 ひろし

一 港わたりの 船乗りは  
潮の香りの いい男  
酒は強いが 情けに弱い  
石狩 函館 野辺地町

二 俺に本気で 惚れるなど  
一夜泊りで 背を向ける  
ついていきたい かもめになって  
男鹿に にかほに 鶴岡に

三 きっと来るよの 約束は  
海が時化(しけ)れば かなわない  
どうかご無事で また逢う日まで  
佐渡か 伏木か 寺泊

四 未練心の 船乗りは  
涙しぶきに 隠すだけ  
陸(おか)に手を振り 笑顔を見せる  
安宅(あたか) 金沢 三国へと

五 今度生まれて 来る時も  
波を蹴立(けた)てて かけまわる  
なのに恋路は どうにもならぬ  
河野 諸寄(もろよせ) 下関

六 昨日竹原 今日備前  
明日は松江の 港町  
消えぬ面影 波止場にゆれる  
あれは 坂越(さこし)か 泉佐野

## 港町恋唄 3

作詞 石原 信一 / 作曲 上総 優  
歌唱 五木 ひろし

一 港わたりの 船乗りは  
潮の香りの いい男  
酒は強いが 情けに弱い  
江差 能代も 本荘(ほんじょう)も

二 俺に本気で 惚れるなど  
一夜泊りで 背を向ける  
ついていきたい かもめになって  
岩瀬 直江津 出雲崎(いずもざき)

三 きっと来るよの 約束は  
海が時化(しけ)れば かなわない  
どうかご無事で また逢う日まで  
美川 福良よ 能登の沖

四 未練心の 船乗りは  
涙しぶきに 隠すだけ  
陸(おか)に手を振り 笑顔を見せる  
美浜 小浜(おばま)に 舞鶴へ

五 今度生まれて 来る時も  
波を蹴立(けた)てて かけまわる  
なのに恋路は どうにもならぬ  
境港(さかいみなと)も 御手洗(みたらい)も

六 昨日牛窓 今日玉野  
明日は室津か 姫路港(ひめじこう)  
消えぬ面影 波止場にゆれる  
神戸 住吉 旅しぐれ



第30回 北前船  
寄港地  
フォーラム  
in 秋田

北前船で旅した秋田蘭画  
つなげる・つながる世界と未来